

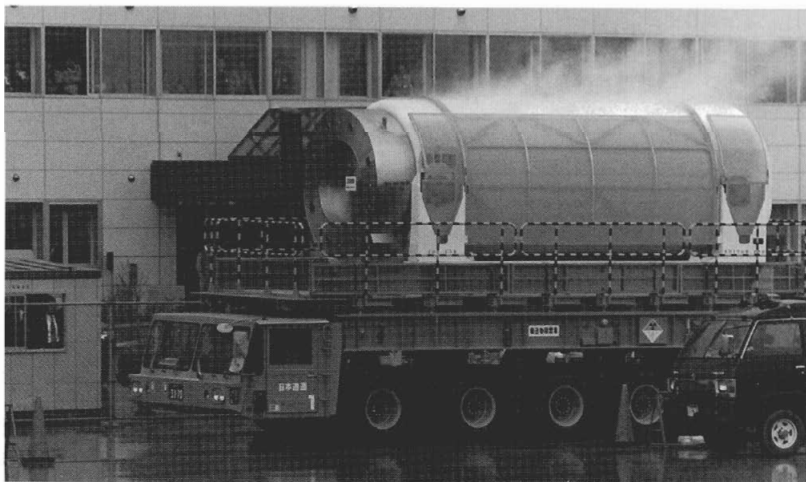
輸送中の事故が最も危険

地層処分の安全性を考える時に忘れてはならないのが輸送中の問題です。高レベル廃棄物は青森県六ヶ所村から船で近くの港まで運ばれ、港から処分場までの陸上はトレーラーで輸送することになります。

原環機構は、処分地選定の評価事項の一つに「利用可能な港湾または港湾候補地から応募区域までの距離が短い等、輸送が容易であること」を挙げています。なにしろガラス固化体を四万本も輸送しようというのですから大変な作業です。港に近い地域ほど処分場に狙われるとの警戒が必要です。

計画では処分場の操業期間は五十年で、その間、繰り返し輸送が行われることとなります。高レベル廃棄物が私たちの生活圏に一番近づくと時です。

もしも輸送中に大地震がおき津波が襲えば……大惨事に至らないという保証はありません。



雨中の輸送で湯煙が上がる高レベル廃棄物輸送

写真：島田恵